

「経済連携協定(EPA)介護福祉士候補者に配慮した 国家試験のあり方に関する検討会」の主な論点に関する ご意見の募集結果について

【意見募集期間】

平成24年4月20日～5月30日

【意見の提出方法】

メール、FAX

【集計状況】 全25件

(内訳)

属性	EPA介護福祉士候補者	介護サービス従事者 (MDA受け入れ施設勤務)	介護サービス従事者 (2以外)	介護施設の長 (MDA受け入れ施設)	介護施設の長 (4以外)	利用者又は家族	その他	不明
人数	7	1	0	1	2	0	13	1

【ご意見の概要】

1. わかりやすい日本語への改善について

○ ルビの拡充

- ・ 全ての漢字にふりがなをつけることに賛成。
- ・ 全ての漢字にふると読みづらいため、難しい漢字だけで良い。

○ 日本固有の社会・文化に基づく表現が含まれる用語は排除すべきでない。

2. 試験時間の延長について

○ 試験時間を延長して欲しい(候補者より)。

○ 1.3倍～1.5倍程度の延長に賛成。

○ 今の時間のままで良い(候補者より)。

○ 試験時間の延長は必要ない。

3. 母国語・英語での試験とコミュニケーション能力試験の併用の適否について

- 今後は英語・インドネシア語が話せる介護福祉士も貴重な人材となるため、賛成。
- 英語にした方が簡単に解けるため、賛成(候補者より)。
- 基礎知識の確認であれば、母国語・英語での試験は問題ないが、コミュニケーションの能力試験は、慎重に行なう必要がある。
- 英語の試験になると、今まで学んできた日本語の専門用語が分かりにくくなるので、日本語も併記して欲しい(候補者より)。
- 安全面・ケアの質の低下が懸念されるため、反対。
- ケアチーム内で情報を共有する力が必要であり、日本語でコミュニケーションすることが必須であるため、反対。
- 日本語の試験で変える必要はない(候補者より)。

4. 学習支援について

- 教材の充実が必要。
- 訪日前・後の施設での学習支援研修の総合的な連携・学習体系の形成が必要。
- 学習支援費の継続・拡充を求める。
- 現状の学習支援に満足している。